

# 令和4年度並木地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者・事業者を問わず、公正・中立性を確保するため、その方の意向を尊重して対応します。</li> <li>様々な課題の解決のため、最善の策を自己決定できるよう、その方にあった情報を提供します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の業務の中でのヒヤリハットを共有し、事故防止に努めます。また、他施設で起きた事故を検証し再発防止に努めます。</li> <li>個人情報の収集は必要最低限とし、取扱はマニュアルに則り、有効に活用できるように細心の注意を払います。</li> <li>定期的に個人情報取扱やコンプライアンスに関する研修を職員全体に向け年2回行います。</li> </ul>
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	誰もが住み慣れた地域で、出来る限り自立した生活が維持向上できるように支援をしていきます。	利用者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、関係機関と連携しケアプラザとして地域の情報が集まる利点を生かしながらケアプラン作成を展開します。
利用料金・実費負担	別紙のとおり	別紙のとおり
職員体制	管理者1名(常勤兼務)、主任ケアマネジャー1名(常勤兼務)、社会福祉士1名(常勤兼務)	管理者1名(常勤勤務) 介護支援専門員(常勤1名・非常勤2名)
契約者数		

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	介護保険法の遵守を基本に、ご利用者一人ひとりの個別性を大切にしたい通所介護計画を作成します。また、社会福祉協議会が運営する通所介護事業所として、地域の要介護者・要支援者の要望に応えられるよう、サービスの質の向上に努めます。		
実施体制	<b>【実施日数】</b> 週7日(12月29日～1月3日を除く) <b>【提供時間】</b> 10:15～15:20 <b>【定員】</b> 32名	<b>【実施日数】</b>  <b>【提供時間】</b>  <b>【定員】</b>	<b>【実施日数】</b>  <b>【提供時間】</b>  <b>【定員】</b>

利用 料金 ・ 実費 負担	別紙のとおり		
職員 体制	管理者□1名(常勤兼務) 生活相談員□3名(常勤兼務3名) 看護職員□8名(非常勤兼務8名) 介護職員□2名(常勤兼務3名、非 常勤兼務9名) 機能訓練指導員 6名(非常勤兼務 6名 看護職員が兼務)		
契約 者数 等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「並木地域ケアプラザ(施設名)」  
収支予算書及び報告書(一般会計) <地域活動交流>

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,105,996		16,105,996		16,105,996	横浜市より
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	2,373,500		2,373,500		2,373,500	
収入合計	18,479,496	0	18,479,496	0	18,479,496	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,649,496	0	12,649,496	0	12,649,496	
本俸	9,657,256		9,657,256		9,657,256	
社会保険料	885,000		885,000		885,000	
手当計	2,024,000		2,024,000		2,024,000	
健康診断費	12,650		12,650		12,650	
勤労者福祉共済掛金	7,590		7,590		7,590	
退職給付引当金繰入額	63,000		63,000		63,000	
その他			0		0	
事務費	100,000	0	100,000	0	100,000	
旅費			0		0	
消耗品費			0		0	
会議随費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	65,000		65,000		65,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000		10,000	
職員等研修費			0		0	
振込手数料			0		0	
リース料	0		0		0	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	25,000		25,000		25,000	
事業費	2,967,000	0	2,967,000	0	2,967,000	
運営協議会経費			0		0	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)	2,967,000		2,967,000		2,967,000	
その他			0		0	
管理費	2,033,000	0	2,033,000	0	2,033,000	
光熱水費			0		0	
清掃費			0		0	
機械警備費			0		0	
設備保全費	0	0	0	0	0	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他	2,033,000		2,033,000		2,033,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他	256,000		256,000		256,000	
支出合計	18,479,496	0	18,479,496	0	18,479,496	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	396,000	0	396,000	0	396,000
自主事業費 支出	2,967,000	0	2,967,000	0	2,967,000
自主事業 収支	△ 2,571,000	0	△ 2,571,000	0	△ 2,571,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「並木地域ケアプラザ(施設名)」  
収支予算書及び報告書(一般会計) <包括・介護予防・生活支援>

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,396,000		23,396,000		23,396,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000		5,802,000	横浜市より
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【包括】			0		0	
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】			0		0	
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】			4,504,000		4,504,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	4,504,000		4,504,000		4,504,000	
収入合計	33,856,000	0	33,856,000	0	33,856,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,693,001	0	30,693,001	0	30,693,001	
本俸	15,899,601		15,899,601		15,899,601	
社会保険料	3,644,000		3,644,000		3,644,000	
手当計	10,128,700		10,128,700		10,128,700	
健康診断費	30,700		30,700		30,700	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000		30,000	
退職給付引当金繰入額	960,000				#VALUE!	
その他			0		0	
事務費	150,000	0	150,000	0	150,000	
旅費			0		0	
消耗品費			0		0	
会議賄い費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	54,000		54,000		54,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	4,500		4,500		4,500	
職員等研修費	15,000		15,000		15,000	
振込手数料			0		0	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	76,500		76,500		76,500	
事業費	2,278,999	0	2,278,999	0	2,278,999	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【包括】	1,274,999		1,274,999		1,274,999	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】	220,000		220,000		220,000	
その他			0		0	
管理費	540,000	0	540,000	0	540,000	
光熱水費			0		0	
清掃費			0		0	
機械警備費			0		0	
設備保全費	0	0	0	0	0	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他	540,000		540,000		540,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他	68,000		68,000		68,000	
支出合計	33,856,000	0	33,856,000	0	33,856,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	1,648,999	0	1,648,999	0	1,648,999
自主事業 収支	△ 1,648,999	0	△ 1,648,999	0	△ 1,648,999

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

\*各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 並木地域ケアプラザ

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	7,566			5,266		5,266	20,256		20,256	46,669		46,669	5,962		5,962
	その他	0	0	0	0	0	0	1,680	0	1,680	9,756	0	9,756	1,335	0	1,335
	事業・負担金収入			0			0			0	5,185		5,185	662		662
	利用料収入			0			0			0	4,501		4,501	673		673
	受託事業収入			0			0	1,680		1,680			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	70		70			0
	<b>収入合計(A)</b>		7,566	0	7,566	5,266	0	5,266	21,936	0	21,936	56,425	0	56,425	7,297	0
支出	人件費	1,672		1,672	1,162		1,162	16,072		16,072	35,994		35,994	5,378		5,378
	事務費	4		4	4		4	827		827	160		160	24		24
	事業費	118		118	82		82	70		70	17,416		17,416	1,895		1,895
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	4,493		4,493	3,123	0	3,123	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	4,493		4,493	3,123		3,123			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
<b>支出合計(B)</b>		6,287	0	6,287	4,371	0	4,371	16,969	0	16,969	53,570	0	53,570	7,297	0	7,297
<b>収支 (A)-(B)</b>		<b>1,279</b>	<b>0</b>	<b>1,279</b>	<b>895</b>	<b>0</b>	<b>895</b>	<b>4,967</b>	<b>0</b>	<b>4,967</b>	<b>2,855</b>	<b>0</b>	<b>2,855</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	体操教室「ステップ・アップ2」	H17年度～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者の健康づくり。転倒骨折予防体操教室。二次予防事業対象高齢者の受け皿としてケアプラザにて後方支援を継続する。	1:高齢者	1.5	健康運動指導士による体操を行う自主活動グループに対する後方支援。 第2・4金曜日13:30～15:00で定期開催。一回400円(参加者にて管理)		
2	鳥見ヶ丘元気づくりステーション	平成22年度～	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	平成22年度町内で体力向上プログラムを実施後に「ゆりの会」としての自主化支援。つながり・認知症予防・健康維持を中心に、町内会でのメンバーを中心に元気づくりステーション事業化。	1:高齢者	1	月1回第4水曜日13:30～15:00で実施。認知症予防を取り入れたり、椅子に座りながらの体操。参加費2000～3000/年 H28.5月より元気づくりステーション事業化。		
3	「なみき音楽倶楽部♪」元気づくりステーション	平成26年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	平成24年から介護予防普及啓発活動として始めた音楽療法から、H26年度より元気づくりステーションに移行。運営の助言や講師手配、企画への参加等の支援を続けている。	1:高齢者	1	第1金曜日・スリーA、小物作り等(メンバー主体)第3金曜日・音楽療法(外部講師)。 ともに13:30～15:00 参加費2,500円/6か月(歌集・資料代)		
4	ふれあい・さざなみ元気づくりステーション	平成25年度～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	体力向上プログラム参加者から、元気づくりステーション事業化。団地内でのボランティアグループ「ふれあい・さざなみ」を中心に、活動が効果的に継続できるよう運営支援や助言を行う。	1:高齢者	1	第3火曜日・盆踊りとコグニサイズ(参加費は団体にて管理) 第3木曜日・音楽療法と講座等 ともに14:00～15:30 参加費200/回		
5	センターいきいきクラブ元気づくりステーション	平成27年度～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	元気づくりステーション事業。活動が効果的に継続できるよう講師手配や企画への助言、運営の支援。前期高齢者が多い団地のため早期から介護予防への取組みができるような運営支援を継続的に実施している。	1:高齢者	1	第1木曜日・ストレッチ、音楽療法、講座等 第3木曜日・スクエアステップ ともに10:00～11:30 参加費200/回 (参加費は団体にて管理)		
6	「センターGG倶楽部」元気づくりステーション	平成30年度～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	元気づくりステーション事業。「センターいきいき」のメンバーにより発足。活動が効果的に継続できるよう運営支援や助言を行う。	1:高齢者	1	毎週水曜日(祝日・雨天中止) 9:00～10:30 参加費100/回 初心者向けに研修もあり。 大会を目標に活動をしている。		
7	日生鳥見ヶ丘「ゆりの会 サロンこの指とまれ」出張相談	平成29年度～	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	比較的ケアプラザまで距離のある地域への出張相談。 町内会館で行われているサロンにケアプラザ職員が定期的に出向いて個別相談対応や情報提供を行う。	5:地域	1	原則第4曜日午前中 出張		
8	なごみサロン@あおと	平成29年度～	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	当該町内会には住民の交流機会・居場所的な地域の活動がないため、町内会館を活用し、「子どもから高齢者まで、誰でも参加できるサロン」を試行的に実施	5:地域	5	子どもから高齢者まで、誰でも参加できるサロン		
9	U-YOUカフェ	平成29年度～	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	UR都市機構が展開する「医療福祉拠点」の1モデル。 世帯数の多いUR団地集会所を拠点に住人および近隣住民を対象とした居場所・交流の場を展開する	5:地域	5	URおよび該自治会、ケアプラザで実行委員会を立ち上げ、月1回サロンを実施		
10	「ほのぼの」出張相談	平成18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザ職員が地域に出向くことにより、直接地域住民の声を聞くことができる。また相談窓口(地域包括支援センター)の普及にも繋がる。	5:地域	5	毎月第3木曜日にシーサイドタウン地区社協の協力を得て、舟だまり公園ポート小屋に相談窓口を設置。 富岡東地域ケアプラザ地域包括支援センターと交代で地域の相談を受けている		

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
11	「並木1丁目第三住宅」出張相談	平成23年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	身近な町内で出張講座を開催し、高齢期の健康や生活全般を考える機会とする。またケアプラザや地域包括支援センターの機能や役割について周知していく。	5：地域		5 毎月第2木曜日、並木1丁目第三住宅自治会運営のサロンに相談窓口を設置		
12	布おもちゃの貸出	平成8年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	布おもちゃを地域の子どもや高齢者の方々、障がいのある方々、いろいろな方に貸したすことにより、プラザの周知や活動の場に結び付けることを目的とします。	5：地域		5 布おもちゃの貸出（協力：縫いぬいの会）		
13	青年学級HELLO!	平成5年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	義務教育を修了した障がい者の余暇活動と仲間作りを目的とします。	2：障害児・者		2 毎月第1火曜日：写真・カラオケクラブ 毎月第3日曜日：料理クラブ（講師：演俱楽部）		
14	子育てサロンなみき	平成19年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	親子の仲間作り・子育て支援を目的とします	3：養育者及び乳幼児		4 毎月第3火曜日フリースペース型の子育てサロン（協力：民生委員・児童委員・ボランティア） 新型コロナ感染拡大防止のため、おもちゃの消毒は強化する。		
15	なごみサロンなみき	平成16年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の方々の仲間作りとシニアボランティアの育成を目的とします。	5：地域		5 聖星学園にパンを注文し、コーヒーと一緒にいただきながら、交流を図る。月一度実施。		
16	並木ティールーム	平成13年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	奇数月の第2水曜日ごとに、異なるプログラムを実施し、自立支援や社会参加、仲間づくりにつなげる。	5：地域		5 講師を呼んで、様々な講座を開催する。2ヶ月に一度実施。		
17	幼稚園交流会	平成22年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	幼稚園児とデイサービス利用者との交流の場の提供	5：地域		4 年長クラスの子どもたちとデイサービス利用者との交流		
18	コーヒーサロン	平成27年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	近隣の元気高齢者を対象として、コーヒーの淹れ方講習をツールとしたサロン事業。仲間づくり・地域参加・ボランティア活動への発展を目的とします。	5：地域		5 月1回実施		
19	NOBINOBI体操クラブ（セラバンド講座）	令和3年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	筋力低下による転倒やケガなどにより介護保険の申請相談が寄せられていることを踏まえ、定期的に自宅でも運動ができるよう筋力維持を目的とした体操を実施する。今年度は連続講座として実施。	1：高齢者		5 専門職に講師を依頼し、講座を実施。その指導内容を、保健師・生活COを中心にメンバーで振り返りながら運動を実施する。		
20	ママのためのエクササイズ	平成30年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	養育者の健康づくり講座 子連れでも気軽に参加できる 定期的に運動する機会を提供する	5：地域		3 講師の指導により、ヨガやストレッチを行う。子どもは同じ室内でボランティアと職員の見守りのもと、自由におもちゃで遊ぶ。月1回実施。		

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
21	夏休みの勉強・宿題を一緒にやりましょう	平成29年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	夏休みの子どもの居場所の提供 地域の異学年の繋がりも育む。	4：子ども・青少年		4 ボランティアの見守りの中、皆で夏休みの宿題をやる。勉強後、パンをいただく。		
22	多世代交流事業 夕涼み会	平成30年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の方が集まり、一緒に夕食を食べる機会を提供し、多世代交流を図る	5：地域		4 ボランティアグループによる紙芝居と夕食提供(カレーライス・デザート)		
23	ピラティス きれいな姿勢&ぶれない体幹をGETしよう！PART5	平成29年度～	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	日頃ケアプラザに馴染みのない現役世代や男性が参加しやすい夜枠の事業。参加者に運動習慣が定着するように促す他、「元気なころから介護予防」の普及啓発を図る。	5：地域		3 様々な手法で身体にアプローチして、いつまでも元気に動かせる身体を目指す。段階的に運動強度を上げ、達成感や充実感を得られるようにする。		
24	ふれあいハウスフェスタ	平成25年度～	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	併設の障がい事業者との共催事業 地域に向けて、施設の周知と交流を目的とする。	5：地域		5 並木地域OPと地域活動ホームシーサイドによる食べ物屋台の出店 地域団体によるバザー、地域貢献の薬局による健康チェック		
25	活動者交流会	平成29年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	並木地域ケアプラザを拠点に活動をしている方々の交流を図り、横のつながりを作るとともに、ケアプラザに対する意見や要望を聞く。	5：地域		5 ケアプラザの利用契約団体とデイサービス個人ボランティアの交流会、交流の機会が少ないので、お互いの活動を知る機会とする。また日頃の活動に対しケアプラザより感謝の気持ちを伝えるとともに 要望 意見を聞く。		
26	多世代交流事業 手作りおやつ	平成29年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子どもも大人も一緒に物づくりを楽しめる場所を提供する。地域住民が一堂に会する場で顔見知りとなるきっかけとする他、地域の活動者に活動の場を提供する。	5：地域		5 多世代で集まり、物づくりを行うことで、交流を図る。		
27	子育てサポートシステム説明会	平成24年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援拠点「とことこ」の行う子育てサポートシステムの会員希望者向けの出張説明。	3：養育者及び乳幼児		5 事前申込制。 とことこのスタッフより入会の手続きや事業内容の説明		
28	多世代交流事業 手作りものワークショップ	平成30年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子どもも大人も一緒に物づくりを楽しめる場を提供する。地域住民が一堂に会する場で顔見知りとなるきっかけとする他、地域で活動している団体とその活動を周知する。	5：地域		5 地域団体を講師として、多世代で集まり、物づくりを行う。		
29	個別ケース 地域ケア会議	平成25年度～	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	個別のケースの課題検討作業をとおして、関係事業所・関係機関・地域の関係者が共通認識をするとともに地域資源の確認・ネットワーク構築を目的とする。	1：高齢者		5 個別のケースについて必要に応じて会議を開催、課題検討し、支援の方向性を探る。		
30	男性向け介護予防講座 MEN'Sカレッジ自分の体と向き合う	令和3年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	独居高齢者の閉じこもり予防兼居場所を目的とした事業。 独居男性高齢者見守り事業で把握した人たちを中心に誘っている	1：高齢者		1.5 年2回 14:00～15:30 地域住民の男性の運動講座。男性同士の繋がりや地域との結びつき、担い手の発掘や組織化を目的とする。		

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
31	圏域 地域ケア会議	平成26 年度～	6：共催（2と3）	1：優先的に 取り組み	包括圏域を対象とした課題検討作業を おして、関係事業所・関係機関・地域の 関係者が共通認識をすともにも地域資源 の確認・ネットワーク構築を目的とする。	1：高齢者	5.6	個別ケア会議であがった課題の中から 地域共通の課題について取り上げ、支援 のネットワーク構築に繋げる。		
32	食料品無料配布	令和2 年度	7：共催（1と2と 3）	1：優先的に 取り組み	新型コロナウイルスの影響で食料に困 った方への食料支援。また、本事業を通 して、地域の課題把握、支援を目的とし ます。	5：地域	5	フードバンクと包括共催で食料支援を 実施。CPIにて事前申し込みの上食料を 配布。（簡単に調理のできる食品が中心） 食料引き取り時にアンケートを実施し、 今後の地域支援に活かす予定。		
33	お元氣だれでも食堂出張相談	平成18 年度	7：共催（1と2と 3）	2：発展させ るねらい	ケアプラザ職員が地域に出向くこと により、直接地域住民の声を聞くこと ができる。また相談窓口（地域包括支 援センター）の普及にも繋がる。	5：地域	5	・富岡第一地区「お元氣だれでも食堂」： 血圧測定個別の相談等を行う		
34	お助け隊なみきフォロー	平成30 年度	6：共催（2と3）	1：優先的に 取り組み	お助け隊なみきへの依頼内容が多様 化しており、メンバーからも相談があ る。本事業を通して地域の課題把握、 支援を目的とする。	5：地域	5	毎週火曜日9:00～12:00 一 サイドタウン地区社協の協力を得て、 舟だまり公園ボート小屋に相談窓 口を設置。困りごとの依頼を受付。		
35	セブンイレブン移動販売 ちよこつと相談	令和2 年度	6：共催（2と3）	1：優先的に 取り組み	ケアプラザ職員が地域に出向くこと により、直接地域住民の声を聞くこと ができる。また相談窓口（地域包括支 援センター）の普及にも繋がる。	5：地域	1.5	毎週火曜日10:00～11:20 3 か所の停留所にて買い物利用者に困 りごと相談・情報提供等を行う。地 域の役員より、地域の情報収集を行 っている。		
36	介護者のつどい	平成14 年度	2：地域包括 支援センター 運営事業	1：優先的に 取り組み	4月と8月を除き毎月開催。介護者 を把握し、介護者同士の交流や情報 交換を目的とした介護者支援事業。	5：地域	5	情報交換の他、介護に関する勉強 会を適宜実施。		
37	「ロバの会」活動支援	平成26 年度	2：地域包括 支援センター 運営事業	1：優先的に 取り組み	富岡・並木エリアの認知症キャラバ ンメイトが運営する認知症サポーター 養成講座実施団体の後方支援。	5：地域	5	月1回の定例会出席のほか、地 域からの依頼に応じた「認知症サ ポーター養成講座」開催の支援。		
38	権利擁護講座	令和元 年度	2：地域包括 支援センター 運営事業	1：優先的に 取り組み	成年後見制度や消費者被害防止な ど、高齢期の生活に必要な知識を、 権利擁護の観点から周知・啓発する。	5：地域	5	専門職に講師を依頼し、2回の 講座を実施。		
39	認知症サポーター養成講座	令和3 年度	6：共催（2と3）	1：優先的に 取り組み	包括が後方支援を行っている区認 知症キャラバンメイト「ロバの会」に 講師を依頼、地域住民に向けた講 座を実施し、認知症への理解促進 とキャラバンメイト活動の普及啓 発を目的とする。	5：地域	5	「ロバの会」に講師を依頼し、 年1回の講座を実施。		
40	並木1丁目第2住宅「出張相談 会」	令和3 年度	7：共催（1と2と 3）	1：優先的に 取り組み	UR都市機構の中で賃貸住宅エリ アで出張相談会。コロナ禍でUR 管理事務所に家賃滞納の連絡が多 い事と事、実施する事となった。 CPが担当していると周知の目的 もある。	7：その他	1, 2, 3, 4	賃貸住宅エリアで「出張相談会」。 年2回。全世代の相談に対応でき よう、包括、地交、生活で行う。		